

第三次さくら市子ども読書活動推進計画

第三次計画策定の趣旨

平成31年3月に策定した第二次さくら市子ども読書活動推進計画の5年間で得られた成果と課題を検証した上で、今後の5年間における本市の子ども読書活動の推進に関する施策と取組を示します。

第三次計画策定の基本目標

第三次計画では、計画の目標を親しみやすくするため、キャッチフレーズ化させて、基本目標を次のとおりとします。

読書で拓く さくらっ子の豊かな未来
～生涯にわたって読書に親しむために～



第三次計画の基本方針等

子どもが読書を好きになり、自主的に読書をするようになるためには、読書に関する発達段階ごとの特徴を踏まえた取組が乳幼児期から行われることが重要です。子どもが、あらゆる機会と場所において読書に親しむ習慣を確立するため、乳幼児期から読書の楽しさを知ることができるよう、家庭・地域・学校等が連携して施策に取り組んでいきます。

【計画の期間と対象】

令和6年度から令和10年度までの5年間を計画の期間とし、0歳からおおむね18歳までの子どもを対象（保護者や子どもの読書活動の推進に関わる市民ボランティア等の大人も対象）とします。

【基本方針】

- 1 発達段階に応じた多様な子どもたちの読書活動の推進
- 2 家庭・地域・学校等の連携推進と子どもの読書環境の整備
- 3 子どもの読書への関心を高める取組の促進と推進体制の整備

【計画の指標】

第三次計画では、子どもの視点に立ち、本に親しみ、読書が好きになるための施策に重点をおいた指標を設定して、子ども読書活動を推進していきます。

① 1週間に1時間以上本を読む児童・生徒の割合

区分	現状値 令和5年度	目標値 令和10年度	参考値(県の現状値) 令和4年度
小学2年生	91.1%	93%	—
小学5年生	92.8%	93%	57.0%
中学2年生	88.6%	90%	42.5%
高校2年生	68.1%	68%	21.9%

※ 県の数値は、「令和4年度子どもの読書活動に関する実態調査」より

② 本を読むことが好きな子どもの割合

区分	現状値 令和5年度	目標値 令和10年度
小学2年生	86.3%	88%
小学5年生	88.7%	88%
中学2年生	75.3%	78%
高校2年生	74.6%	75%



市立図書館オリジナル
キャラクター「さくちゃん」

③ 子どもに読み聞かせをしている家庭の割合

区分	現状値 令和5年度	目標値 令和10年度
保育園・幼稚園 5歳児の家庭	77.5%	80%

④ 学校の図書室における児童・生徒への図書の年間貸出冊数

区分	現状値 令和5年度	目標値 令和10年度	参考値 令和元～令和5年度の平均
小学校	1人あたり 54.3冊 (年間136,145冊)	1人あたり 55冊 (年間118,965冊)	1人あたり 47.1冊 (年間120,260冊)
中学校	1人あたり 8.9冊 (年間11,267冊)	1人あたり 11冊 (年間14,520冊)	1人あたり 9.6冊 (年間12,050冊)

⑤ 市立図書館における子ども(18歳まで)への図書資料等の年間貸出冊数

区分	現状値 令和5年度	目標値 令和10年度	参考値 令和元～令和5年度の平均
子ども(18歳まで)	1人あたり 3.7冊 (年間27,977冊)	1人あたり 4.5冊 (年間33,750冊)	1人あたり 3.7冊 (年間29,886冊)

【主な取組】

1. 発達段階に応じた多様な子どもたちの読書活動の推進

- ・保護者への読み聞かせ支援(乳幼児期)
- ・さくら市の4読の普及・啓発(小中学生期)
- ・学校図書館整備、やさしい日本語による利用案内、電子図書館、デジタル冊子の作成、障がいのある子どもへのサービス(多様な子どもたち)

2. 家庭・地域・学校等の連携推進と子どもの読書環境の整備

- ・学校図書館の環境整備
- ・学校図書事務員等の配置
- ・読み聞かせボランティアの育成支援
- ・ HALFメディアデーと家読の日

3. 子どもの読書への関心を高める取組の促進と推進体制の整備

- ・「子ども読書の日」「読書週間」等における啓発
- ・図書館ボランティア等の優れた取組の紹介
- ・子ども会議(子どもの声を生かすための機会)